

令和元年度防災フェスタの実施結果について

(1) 実施日時等

ア 日時	令和元年8月25日(日)	午前10時から午後1時まで
イ 場所	教育の森公園及び文京スポーツセンター	
ウ 参加者	・・・・・・・・・・・・・・・・	3,039名
① 区民	・・・・・・・・・・・・・・・・	2,664名
② 防災関係機関等	・・・・・・・・・・・・・・・・	335名
③ 区職員(災害対策本部員含む)	・・・・・・・・・・・・・・・・	40名

(2) 実施内容

- ア 一斉防災(危険回避)訓練(午前10時から3分間実施)
- ① 区民及び訓練参加者に対して、防災行政無線、戸別受信機、「文の京」安心・防災メール、区報、ホームページ及び各種SNS等により一斉放送の事前周知を図った。
 - ② 区民及び訓練参加者は、午前10時の防災行政無線及び戸別受信機による一斉放送を合図に、一斉防災(危機回避)訓練を行った。
- イ 観覧型訓練(午前10時から午前10時40分まで)
- 防災関係機関(消防署、消防団、消防少年団、警察署、災害時専門ボランティア及び自主防災組織)が救助活動及び消火活動の訓練を行った。
- (①初期消火訓練、②倒壊家屋からの救出・救助訓練、③警備犬による検索訓練、④高所からの救助訓練、⑤一斉放水)
- ウ 体験型訓練
- 身近な体験を通じて防災意識の啓発と防災行動力の向上を図った。
- (炊き出し訓練、給水訓練、初期消火訓練、AED取扱い・心肺蘇生法、起震車体験、煙体験ハウス、強風体験、防災機関車両展示、り災証明発行訓練、バッテリーカー試乗、防災カルタ、ペーパークラフト)
- エ 防災教室
- 身近なスポーツをしながら防災知識を学べる「防災サッカー」や、娯楽から学べる「防災落語」など、子どもから大人まで楽しみながら参加できる防災教室を開催した。
- オ パネル展示
- 災害時に相互協力の協定を締結している都市、協定事業所、大学及び区内事業所等における防災活動状況等について、パネル展示や説明員等による防災普及活動を実施した。

(3) 実施結果

観覧型訓練では、自主防災組織が行う救出、救護訓練や警察及び消防機関による救助活動及び消火活動を実施することにより、区民に対し震災に対する備えについて強く啓発することができた。

体験型訓練では、起震車、煙体験ハウス、初期消火訓練や給水訓練などのほか、今年度は東京消防庁消防救助機動部隊が保有するブロアー車による強風体験を行い、震災のみならず風水害に対する防災意識への啓発も行った。

家族単位での参加が多く、AEDの使い方がよく理解できたという意見や、子どもと一緒に楽しみながら防災について学ぶことができたというアンケートの回答が多く、幅広い年齢層に対し、防災に関する情報等の周知・啓発を行った。